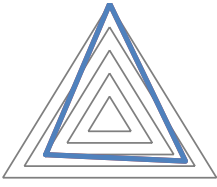




1 さぬき力（非認知能力）に関する子供（35名）の実態

授業づくりの重点項目		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">さ力</p> <p style="text-align: center;">社交性</p>  <p style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> 思いやり 協調性 </p> </div> <p>「社交性」の自覚度が高い。授業中、分からないことについて友達に相談したり、互いの考えを活発に交流したりする姿が見られる。</p> <p>一方で、「苦手だなと感じる人がいても、話しかけたり、一緒に活動したりしている（協調性）」の質問項目で自覚度が低い子供が9名いる。このことから、自分から話しかけることに苦手意識をもっており、仲のよい友達とだけ話し合うことのできる子供が学級の四分の一ほどいることが分かる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">ぬ力</p> <p style="text-align: center;">目標への情熱</p>  <p style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> 粘り強さ 忍耐力 </p> </div> <p>「目標への情熱」の自覚度が高い。その中でも、「新しいことを知るのが楽しい」「目標を立てて、それを目指してがんばっている」「新しいことに挑戦するのは好き」の質問項目の値が高い。新たな学習内容に関心をもって、前向きに学習に取り組む姿が見られている。</p> <p>一方で、「まじめにこつこつ取り組んでいる（忍耐力）」「失敗を恐れずに行動しようとしている（粘り強さ）」「人から言われなくても、自分から進んで学習している（目標への情熱）」の質問項目の値が低い。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">き力</p> <p style="text-align: center;">自分を信じる力</p>  <p style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> 回復力 自制心 </p> </div> <p>「自分には得意なことがある（自分を信じる力）」の質問項目の値が大変高い。一方で、「自分に苦手なことやできないことがあってもあまり気にしない（自分を信じる力）」の質問項目で自覚度が低い子供が16名いる。高い目標を設定し、努力しようとするからこそ、このような自覚度として表れていると考えられる。</p> <p>「自制心」の自覚度は高い。その中でも、「自分で決めたことは最後までやり通す」の質問項目の値が高い。</p>

2 教科に関する子供の実態

- ・資料（写真、絵、動画、グラフ、文章など）を見て考えることが好き。（肯定的回答：30名）
- ・社会科で友達と話し合うことは大切だと思う。（肯定的回答：34名）
- ・社会科で勉強したことを振り返るのは大切だと思う。（肯定的回答：35名）
- ・実社会の問題を、自分のこととして考えることができる。（肯定的回答：33名）
- ・社会科の勉強は、自分の生活に役に立つと思う。（肯定的回答：34名）
- ・貿易については、約半数の子供が言葉やその意味を知ってはいるものの、どのような国と、どのようなやり取りを行っているか、具体的には分からないという子供が多い。

3 個別支援が必要な子供の実態

A児…状況を把握するのに時間がかかり、活動への見通しがもてなかつたり、自分の考えに自信がもてなかつたりするため、考えを表出するのに時間を要する場合がある。周りから認めてもらったり、助言をもらったりすることで見通しをもって学習に取り組むことができるようになる。

第5学年西組 社会科学習指導案

「輸出入によって支えられる日本の工業生産」

学習指導者 網野 未来



1 本単元で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【授業の詳細】

本単元では、工業生産を支えているという貿易と運輸の役割を明らかにしていく。前単元で自動車生産に関わる人々の工夫や努力を学んだ子供たちは、自動車のシートの布を外国から仕入れていることや自動車が外国に運ばれていることを想起し、国と国との間でやり取りされている他の工業製品に注目し、「日本は、どこの国とどのようなものを輸出入しているのだろうか。品物はどのようにして運ばれているのだろうか」という問いを見いだす。輸出入の推移についての統計などを使って、時間を広げ、40年前も今も、自動車をはじめとした工業製品を輸出していることや、燃料や原料の多くを輸入していることを捉える。その中で、日本は半導体の輸出入が多いことに気付く。また、地図を使って空間を広げ、原材料や工業製品は、それぞれの輸送手段の特色を生かしながら運ばれており、運輸の働きが貿易を支えていることを理解していく。貿易や運輸の様子を捉えた子供たちは、コロナ禍において、船による輸送が減った一方で、航空機輸送が増えたことを知り、その理由について課題意識をもち考えていく。例えば、「日本の立場で考えると、半導体の輸出が増えたからだと思うよ。コロナ禍で、半導体は需要が高くなっていたよ」「その考えに納得だよ。私は外国の立場で考えたよ。通信機の輸出が増えたからだと思うよ。コロナ禍で、通信機の需要が高くなったよ」「半導体や通信機の貿易が増えたから、航空機輸送は増えたんだね」などと、航空機輸送が増えた理由について考えを深めていく。さらに日本に輸入されている通信機の部品である半導体は日本でつくられたものであることを知った子供たちは、貿易と運輸は世界各地で工業生産を支える重要な役割を果たしていることを捉え、その後も、日本と貿易関係にある国々への関心を高めたり、輸出入のニュースに注目したりしていくだろう。

2 単元計画と働きかけの概要（本時 5/6）

	学習の流れ	働きかけ
	<p>① 日本は、どこへどんなものを輸出しているのだろうか</p> <p>前単元の学習内容から、国と国でやり取りされている他の工業製品にも注目し、日本の貿易の様子についての問いを見いだす。地図や統計を使って調べ、昔も今もICや自動車などの機械類をアジアやアメリカに多く輸出していることを理解する。</p>	<p>見通し 信【私の見方タイム】①②④⑤</p> <p>本時までの学習内容や課題解決過程を想起し、意図をもって解決方法を選び、解決への見通しをもてる場を設定する。㊦調べたり考えたりしていけそうだと思う解決方法を選択して、前向きに課題解決していこうとする姿を即時的に教師が称賛する。</p>
	<p>② 日本はどこからどんなものを輸入しているのだろうか</p> <p>燃料や原料を昔も今も変わらず輸入していることや、中国などから機械類や衣類の輸入が増えていることを理解する。輸出入についてまとめ、加工貿易という貿易の特色を理解する。</p>	<p>行動 粘【いろいろ見方タイム】①②④⑤</p> <p>友達の調べの内容や考えを一覧で見られるようにした状態をつくり、友達の意見も参考にしながら様々な観点や立場で調べたり話し合ったりする時間を設定する。㊦友達の意見を取り入れながら考えを深めようとしていることを即時的に教師や友達が称賛する。</p>
	<p>③ なぜ半導体は輸出も輸入も多いのだろうか</p> <p>資料を基に半導体の輸出も輸入も多い理由を考え、需要が高いことや、様々な工業製品に使われていることを捉える。</p>	
	<p>④ 原料や製品は、どのようにして運ばれているのだろうか</p> <p>地図等を使って、様々な輸送手段の特色や交通網の広がり調べ整理し、運輸の働きが貿易を支えていることを理解する。資料から航空機輸送が増えたことを知り、課題意識をもつ。</p>	<p>振り返り 共【友達いいねタイム】①～⑥</p> <p>課題解決過程における頑張りを友達と伝え合い、学習の達成感を感じることができ場を設定する。㊦頑張りを認め合ったことが、学習の達成感の実感につながったことを即時的に教師が称賛する。</p>
	<p>⑤ なぜ、航空機輸送は増えたのだろうか</p> <p>航空機輸送が増えた理由について話し合うことを通して、航空機輸送による貿易が工業生産を支えていることを理解する。</p>	
	<p>⑥ 貿易や運輸について分かったことをまとめよう</p> <p>貿易や運輸の役割を考え、ノートにまとめる。</p>	

3 本時の学習

目 標	航空機輸送が増えた理由について話し合う活動を通して、コロナ禍でも外国に半導体を輸出したり、通信機などの製品を輸入したりする貿易が増えていることに気付き、航空機輸送による貿易が日本や外国の工業生産を支えていることを捉えることができる。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

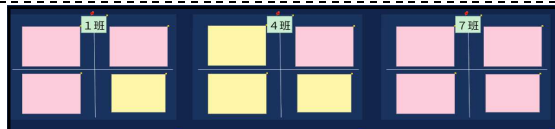
学習活動と働きかけ		主な子供の意識			
見 通 し	1 学習課題を設定する。 【自分を信じる力】 【私の見方タイム】	<p>原料や製品は、航空機や船、トラックや鉄道を使って運ばれているよ。</p> <p>運輸の働きは、貿易にとってなくてはならないものだよ。</p> <p>コロナ禍の時、船による輸送は減っていたのに、航空機の貨物便の発着回数だけ増えていたよ。</p> <p>どうして航空機輸送は増えたのか知りたいな。</p>			
	なぜ、航空機輸送は増えたのだろう				
行 動	2 航空機輸送が増えた理由を予想し、話し合う。 【粘り強さ】 【いろいろ見方タイム】	半導体の輸出が増えたからだと思うよ。コロナ禍で、半導体は需要が高くなっていたよ。	通信機の輸入が増えたからだと思うよ。家で過ごすことが多くなって、通信機を使う機会も増えたと思う。	日本から半導体の輸入が増えたからだと思うよ。半導体を使って、スマホやPCなどの製品をつくれるよ。	通信機の輸出が増えたからだと思うよ。コロナ禍で、通信機の需要が世界中で高くなったと思う。
	3 話し合ったことを検証する。	<p>日本や外国という立場で考えられそうだよ。考えやすい立場を選ぼう。</p> <p>外国にとっては、需要が高くなって、日本からの半導体の輸出があるよ。それを使って製品がつくれるね。</p> <p>通信機の輸入が増えたという考えに納得だよ。コロナで家で過ごすことが多くなったから、必要になったと思うよ。</p> <p>友達と話し合うことで、自分の考えを深めたり広めたりできたよ。</p> <p>半導体や通信機の貿易が増えたから、航空機輸送が増えたんだね。</p> <p>もし航空機輸送が止まってしまったらどんなことが起こっただろう。</p> <p>日本の工場がつくった半導体が無駄になるよ。外国の工場は、部品が届かなくて製品をつくれな。半導体の輸入も止まるから、日本の工場も製品をつくれな。通信機も輸入が止まって、買いたくても買えなくなるよ。</p>			
振 り 返 り	4 本時の学習を振り返る。 【共感性】 【友達いいねタイム】	<p>話し合ったことについて、資料で確かめてみよう。</p> <p>コロナ禍、中国へ日本の半導体を輸出し、それを加工したスマホやPC、ゲーム機などの製品を輸入する貿易が増えたんだね。</p> <p>外国に半導体を輸出して、それを加工した製品を輸入するするために航空機輸送が増えたんだね。</p>			
	<p>私が頑張ったのは、粘り強さだよ。そうだね。〇〇さんは、二つ以上考へにもないか、考えられたよ。ええることができていたね。</p> <p>自分が頑張ったことに対して、友達から「いいね」をもらって嬉しかったよ。また、友達の頑張りにも「いいね」を送って喜んでもらえたよ。</p>				

評 価	航空機輸送が増えた理由について話し合う活動を通して、コロナ禍でも、外国に半導体を輸出したり、通信機などの製品を輸入したりする貿易によって、日本や外国の工業生産が支えられていることを捉え、表現している。 【方法：発言・様相・記述】
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

働きかけの詳細資料

～見通し～ **学習活動1** 信【私の見方タイム】（1, 2, 4, 5時間目）

はじめに日本の輸出入の流れをまとめた補助黒板を使って、前時の学習内容を確認する。そして、コロナ禍の航空機輸送について疑問をもったことを想起させる。子供たちは、「船による輸送は減ったのに、航空機輸送が増えたのはどうしてだろう」と課題意識を高めていく。学習課題を設定した後、学習支援アプリ（以下アプリと記す）上で、座席と同じように並べた白いカードを提示する。日本の立場で考える場合はピンク色、外国の立場で考える場合は黄色に、カードの色を変えさせることで、考える立場を示させる。学習経験を基に立場を選べばよいこと、選んだ立場は途中で変更してよいことや両方の立場で考えてもよいことを共有する。活動の見通しをもちにくいA児には、ノートや補助黒板のどの内容が参考にできそうか対話を行い、見通しをもてるようにする。自らが考えていけそうだと思う立場を選択して、前向きに課題解決していこうとする姿を称賛する。



【立場を明らかにするために色分けされたカード】

～行 動～ **学習活動2** 粘【いろいろ見方タイム】（1, 2, 4, 5時間目） **学習活動3**

ノートや補助黒板を基に、自分の考えをアプリのカードに表現していく。アプリを使うことで、友達の考えも参考にしながら多様に考えていくことができる。カードは、授業の前にアプリの共有シートに貼っておく。考えについて話し合う際には、生活班の3～4人で行う。考えが書かれたカードを互いに見ながら、自分の考えやその理由を説明していく。子供たちは、友達の考えに対して感想を伝えたり、互いに質問し合ったりする中で、様々に考えを深めたり広めたりしていくだろう。



【全員の考えが一覧になったいろいろ見方カードの一部】

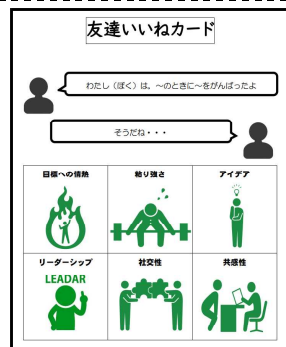
全体での話し合いでは、自分たちにとってより身近で考えやすく、多数の意見が表出されると思われる日本の立場で考えた意見から取り上げる。両方の立場での意見が表出された段階で、「みんなの意見をまとめると、航空機輸送が増えた理由は何か」と問う。こうすることで、航空機による半導体や通信機の貿易が増えたことや、コロナ禍でも日本でつくった半導体を外国の工場で製造に生かすことができることに気付けるようにする。また、「もし航空機輸送が止まっていたら・・・」と揺さぶり、補助黒板上で、輸送が止まることによって様々な所に悪影響が及ぶと理解を深めていく。教師は、班や全体での話し合いで、友達の考えに触れる中で、自分の考えに自信をもったり、新しい考えに気付いたりしている姿を称賛する。

話し合ったことは、日本の半導体工場の人話の資料を使って検証する。航空機輸送が増えた理由が分かった子供たちに「資料から新しく分かったことはどんなことか」と問うことで、外国へ半導体を輸出し、それを使ってつくった製品を日本に輸入していることに気付けるようにする。

話し合ったことは、日本の半導体工場の人話の資料を使って検証する。航空機輸送が増えた理由が分かった子供たちに「資料から新しく分かったことはどんなことか」と問うことで、外国へ半導体を輸出し、それを使ってつくった製品を日本に輸入していることに気付けるようにする。

～振り返り～ **学習活動4** 共【友達いいねタイム】（1～6時間目）

ノートに分かったことをまとめた後に、課題解決過程の頑張りについて、隣の友達とペアでコメントを伝え合う場を設ける。伝え合う際には、「友達いいねカード」の項目を指さしながら行う。このような場を設定することで、互いの頑張りをお互いに認め合い、学習の達成感を感じることができる。項目の内容については、「目標への情熱：めあてを意識した学習」、「粘り強さ：多様な考え」、「アイデア：友達が思いついていなかった考え」、「リーダーシップ：班内でのリーダー的働き」、「社交性：積極的なコミュニケーション」、「共感性：相手を受け入れる聞き方など」ができていたことであると共通理解しておく。ペアで伝え合った後、全体で自分の頑張りや友達から伝えられたコメントを共有する。頑張りをお互いに認め合ったことが、互いの学習の達成感の実感につながったことを称賛する。



【友達いいねカード】